

議会だより

10号



● 6月定例会……………	2	● 議会の動き……………	12
● 4月臨時議会……………	2	● 漁業体験船完成……………	12
● 常任委員会の動き……………	4	● アンケートの協力お礼……………	12
● 一般質問……………	6	● 編集後記……………	12
● 各種委員会報告……………	9		

6月定例会 (6月6日～20日)

6月定例会は、6月6日から20日まで15日間の日程で開かれました。議案は、平成24年度一般会計補正予算など9議案で予算関係は、予算決算常任委員会、条例その他議案については、総務文教常任委員会及び産業厚生常任委員会で審議の上、いずれも原案どおり全員賛成で可決し、「農業・食料の安全対策と農業の発展に向けた要請」など、意見書2件の提出を採択しました。各議案ごとに熱心な議論が行われ、主なものを掲載しました。

平成24年度 一般会計6月補正予算

〈総務費〉

原子力広報用 備品拡充

衛星携帯電話等購入費（4台）
173万5千円、原子力図書購入などです



役場の対応備品

〈民生費〉

みずうみ保育園 整備開始される

調査・設計業務委託料、用地購入費用 3,076万5千円などです。



みずうみ保育園

〈農林水産業費〉

農業用排水路改修 (久々子、太田)

県単小規模土地改良事業で農業用排水路を改修するものです。



対象となる排水路 久々子

〈土木費〉

今年度もリフォームを助成

耐震改修に係る、リフォームに要する経費を補助するものです。

改修される気山2号線

気山2号線測量設計業務 847万5千円
南市・和田線用地測量業務 217万9千円

〈教育費〉

ナックル艇増強

町民レガッタ事業でナックル艇を6艇購入するものです。



ナックル艇



改修される気山2号線

●美浜町診療所事業 特別会計 補正予算

丹生、東部診療所施設工事費など105万4千円追加するものです。

●住民基本台帳法の一部を改正する、法律等施行に伴う美浜町関係条例の制定

外国人登録法が廃止され、外国人住民も住民基本台帳法の適用対象に加えられることになるものです。

●美浜町診療所の設置及び管理に関する条例の一部改正

診療報酬の算定方法(平成20年)の公布に伴い改正するものです。

●美浜南小学校体育館整備基金 条例の廃止、せせらぎ保育園整備基金条例の廃止

南小学校整備基金、せせらぎ保育園整備基金の処分に伴い廃止するものです。

●福井県後期高齢者医療広域連合規約の変更について

住民基本台帳法の改正に伴い、福井県後期高齢者医療広域連合の規約を変更するものです。

●新たに生じた土地の確認と字の区域の変更について

公有水面埋立により新たに土地が生じたため、字の区域を変更するものです。日向地区10074.87㎡とするものとす。



対象となった日向漁港

平成24年度 一般会計6月補正予算概要

予算規模	補正 予算額	3億1,914万円	補正後 予算総額	68億7,373万7千円
------	-----------	-----------	-------------	--------------

◎ 歳出予算の内訳（主要事項）

（単位：円）

款	主要事項	金額	参 考
総務費	原子力広報用備品購入	224万	・衛星携帯電話等購入 ・原子力図書購入
民生費	みずうみ保育園整備事業	3,100万	・調査、設計業務委託 ・用地購入
衛生費	健康づくり推進事業	127万	・健康づくりフォーラム ・はあとびあ祭補助 等
農林水産業費	県単小規模土地改良事業	1,700万	・久々子農業用排水路改修 ・太田農業用排水路改修 等
商工費	JR美浜駅マルス端末負担金	559万	・JRが行うマルス端末（乗車券等発券機）更新に係る工事費を負担する。
土木費	若者定住化対策事業	70万	・宅地造成に当たり、開発行為や農地転用申請等に必要な計画図を作成する。
	住宅改修費助成事業	400万	・耐震改修等に係るリフォームに要する経費を補助する。
	道路新設改良事業	1,667万	・気山2号線測量設計業務 ・南市和田線用地測量業務 等
	町道役場前線改良事業	4,146万	・道路工（延長210m）
消防費	地域防災計画見直し業務	588万	・地域防災計画の見直し業務を委託し、本年度中に計画を策定する。
教育費	ホームステイ事業	764万	・台湾新北市石門区との中学生交流に係る経費（訪問事業・受入事業）
	町民レガッタ事業	940万	・ナックル艇購入費 ・実行委員会等補助 等

※1万円未満は、四捨五入になります。

4月臨時議会（4月20日）



「なびあす」ホール用グランドピアノ
ファツィオリ社製コンサートグランドピアノF 308

「なびあす」

ホール用ピアノは

ファツィオリ社製

4月20日、臨時議会が開かれました。専決処分承認に関する議案3件（美浜町条例の一部を改正、美浜町国民健康保険条例の一部改正、福井県市町総合組合を組織する地方公共団体の数の減少及び同組合規約の変更について）と、美浜町生涯学習センターホール用グランドピアノ購入契約について、4件の議案を審議し、専決処分の承認3件については全員賛成で承認、グランドピアノ購入契約については賛成多数で可決しました。

（藤本記）

常任委員会の動き

各常任委員会に付託された案件と、おもな審議内容をお知らせいたします。

予算決算
常任委員会

付託案件2件

◎平成24年度一般会計補正予算

(歳出歳入)

〈総務費〉

**原子力広報用備品購入費に
2百23万5千円**

問 男女共同参画推進計画策定検討の状況は。

答 美浜町の女性登用の目標は30%、実態は27%、継続推進をはかる。

問 施設使用料検討委員会の目的は。

答 公共施設の使用料金の公平化、受益者負担割り、減免規定の見直しである。

問 原子力広報用備品購入費の内訳、今後の維持管理は。

答 緊急災害用に、新たに衛星携帯電話4台を購入、整備をして行く。今後の維持は役務費で賄う。

〈民生費〉

**みずうみ保育園整備事業の
準備開始**

問 みずうみ保育園の整備事業費にO A 機器等の更新は考えられているのか、また土地の購入面積は。

答 機器更新は庁舎と同じ扱いとする。購入面積は4千809㎡である。



敦賀美方農業協同組合カントリーエレベーター美浜

〈農林水産費〉

**競争力のある
福井米づくりを推進**

問 競争力のある福井米づくり事業の補助とは。

答 カントリーでの品質区分を実施していく計画で、集計システムを先行して行う。

〈商工費〉

**客を呼ぶ観光ホームページに
更新を**

問 企業誘致調査事業の活動費は少なく感じる。美浜の売り文句は何か。

答 今回は、約5千社に対するアンケート、企業訪問を考えている。経費は専門業者で安価である。売りは電気料金、交通アクセス等である。

問 美浜町のホームページは古く、一般には見る気がしないのではないか。

答 観光ホームページについては、各課主査級で協議し、内容の充実をはかる。

〈土木費〉

町道整備の推進

問 町道の整備はどこまで進んでいるのか。

答 今回は町道役場前線を改良する。県道松屋河原市線の歩道整備の用地はまともにかけている。町道南市和田線は用地測量費を計上した。

〈教育費〉

**小学校、エアコンの
整備を進める事**

問 小学校の管理費で一部修繕費は計上されているが、昨年約束したクー

ラーの取り付け等、学校間格差の是正について、考えも示されていないのは問題である。

答 昨年、一部保健室や給食室の冷房を実施したが、今年度、財源的に取りやめに至った。意見を尊重して順次検討を実施する。

問 図書の購入費は町の文化の指針である。補正400万円の内容は。

答 今回1千7百冊を購入する。今後も充実させていく。

問 コミュニティー助成事業の内容は。

答 地区の伝統文化継承のための備品購入の助成金で250万円限度となっている。

◎平成24年度美浜町診療所事業特別会計
補正予算
質疑は特にありませんでした。(浜野記)

総務文教
常任委員会

付託案件4件
意見書1件

日向港、埋め立て地を登記

◎住民基本台帳の一部を改正する法律等の施行に伴う美浜町関係条例の整理

問 今回の改正により、印鑑登録する資格と登録方法は。

答 従来も外国人の印鑑登録はできたが、今回資格が明確にされた。3ヶ

月以上の在留資格が必要となった。漢字圏以外はカタカナの注釈をつける。印鑑登録は1個のみ、8mmから25mm四方の中に入る大きさである。

◎美浜南小学校体育館整備基金条例を廃止する条例の制定について

今後、建物等に不備が生じた場合の予算措置は。

◎新たに生じた土地の確認について

新たに土地が生じると、従来との土地に残地が生じることがあるが対応は、また、土地の所有権と、固定資産税の関係は。

◎今回は埋め立て部分の登記である。管轄は県で固定資産税は発生しない。



南小学校体育館

◎字の区域の変更について

新たに字名が生じたのか。

◎北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書提出の要望

賛成意見多数で採択 (松坂記)

◎総務文教常任委員会(視察研修)

「社会保障と税の一体改革」

衆院委員会を傍聴

総務文教常任委員会の、平成24年度視察研修は国会と設定し、5月16、17日に実施された。1日目は、衆院議員会館内の会議室で原子力発電に係わる講義を受けた。2日目は衆議院で社会保障と税の一体改革の委員会を傍聴した。

1. テーマ

「原子力発電所のテロ対策について」

経済産業省原子力安全・保安院 黒木補佐
原子力防災課核物質防護室
(要旨)・米国の9・11以降、特別警察部隊の投入、海上保安庁の巡視船による警備の強化。

- 原子力規制法の改正(2005年)による警備水準の強化。
- IAEAの核物質防護勧告(2011年)を踏まえた防護措置の強化。

2. テーマ

「原子力発電所再稼働に対する現状」

経済産業省資源エネルギー庁
電気ガス事業部原子力対策課 貴田補佐
経済産業省原子力安全・保安院

技術基盤課 田口班長

(要旨)・大飯3、4号機再稼働の為に進捗状況。

- 原子力発電所防災に対する改善事項について。
- 今夏の各管内の節電に必要な対応について。

3. テーマ「警視庁交通管制センター見学」

(要旨)・首都を守る交通管制の役割について。

- 交通管制の効果「渋滞緩和」「事故の減少」「公害防止」

4. テーマ

「衆議院：社会保障と税の一体改革」

委員会の傍聴

(要旨)・当日は、初日で与党(民主党、国民新党)の代表質問があり、国民向けに分かり易くするため質疑であった。(浜野記)



視察風景

産業厚生
常任委員会

付託案件3件
意見書2件

公共施設建設完成後の
検査体制を整備

◎美浜町診療所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

今回の診療報酬の改定で患者負担はどうなるのか、また他の医療機関との差があるのか。

◎診療報酬については0.38%の増、薬価は1.2%減となる。トータルとして減額となる。また医療機関との差はない。

◎せせらぎ保育園整備基金条例を廃止する条例の制定について

せせらぎ保育園の建設、整備が完了しての措置と考えるが、完成後の不良、不備が数か所あり最終検査体制に問題があったと言わざるを得ない。

◎最終検査の不備については反省して指示し修理を促した。ご意見は、みずうみ保育園の整備に活かしたい。

◎福井県後期高齢者医療広域連合規約の変更について

規約変更による美浜町の該当者は何人か。

◎被保険者の1千862名が該当する。外国人登録者の該当者は2名である。

◎農業・食料の安全対策と農業の発展に向けた意見書提出要請について

賛成意見多数で採択

◎障がい者総合福祉法の制定等に関する国への意見書提出を求める要請について (宮下記)

質 問

6月定例会では4人の議員が一般質問に立ち、町行政の有り方について、伺いました。



宮下 紀興 議員

デマンドタクシー計画の進捗は

.....
使い勝手の良い交通網を整備する

問 昨年12月、一般質問でデマンドタクシー創設の提案があり、その後、町長の所信の中で検討するとの事でしたが現在どこまで詰まっているのか。

答 新公共交通システムワークイングループを立ち上げ地域に即した交通体系を検討する。

〔住民環境課長〕高浜町の視察では予約すれば町内の好きな場所に好きな時間に行けるメリットは大きく、利用者も増加の傾向との事でした。当町ではコミュニティバスとの関連もあり、地域公共交通会議を中心として地域に

最も相応しい公共交通システムを検討する。

問 当町の人口定着、増加と、定住促進を目的とした若者定住化対策事業を進めておりますが、大変大切な事業と考える。宅地造成の財源と、造成の進め方をどう考えているのか。

答 とりあえず基金として交付金から9千万円を積み立て使用していく。当然これだけでは不足することが予測されるので、将来土地開発基金、その他国交省の基金等検討し、充当していきたい。進め方としては買占め、地上げ等起きないように慎重に進めていきたい。

問 若者定住化対策事業で宅地を確保する事と、一方働く場が必要になる。経済特区を設けるような当町の企業誘致をどう考えているのか。

答 原子力発電所がこのような状況から他産業の誘致は必要と考えている。特区的な規制緩和は下水道の規制撤廃等やってきた。決まっていな

問 原子力産業の今までの様な拡大政策は考えられない。この状況から美浜町の将来をどう考えておられるのか。

答 ご提案の再生エネルギーの課題等、検討して行かねばならない。将来の全エネルギーに占める原子力発電所の比率等が確定してくるとリブレースの必要性も見えてくる。全体構想として考えていきたい。

急傾斜地の対策を早く

.....
新築計画情報も頂きたい

問 急傾斜地（レッドゾーン）に建っている住居の一部改築は了承され、新築が許可されないのは矛盾があるのではないか。

答 人命を守るため、国の基準に従うしかない。但し、そういった計画を早く知らせて頂いて、レッドゾーンの対策を優先的にすすめてたい。

〔土木課長〕急傾斜地の対策工事は久々子が平成30年、日向東地区が平成33年度、日向浜地区は平成27年度完成を予定している。

問 発電量によって交付される電源立地対策交付金の影響は。

答 停止中でも8割のみなし発電量で交付される。



竹仲 良廣 議員

予測される税収減の対応策は

.....
積み立て基金や財政調整基金を活用する

問 今年度の税収の予測と貯えている基金、また今年度の予算補正額は。

答 昨年度と比較して約5億5千万円の減収と予想している。基金は、財政調整基金は6億2千万円、まちづくり基金は9億8千万円で合計16億円になる。また、原子力関係の交付金の合計額は現在14億円ある。補正額は、現在68億7300万円で今後7億8億程度の追加補正が必要である。

問 不足が考えられる金額をどのよう

1. 美浜町の財政について

質問、返答については質問者の文責で掲載しております。

るのか。

答 まちづくり基金や財政調整基金を使用する。今年度が一番財政的に厳しいと考える。

問 日本原子力発電所3、4号増設に伴う交付金が着工2年前から前倒しで受け取ることができ、美浜町の割当額は22億8千万円である。すでにいくらか前倒しで使用しているのか。また、増設中止になったとき、このお金は返却の必要はないのか。

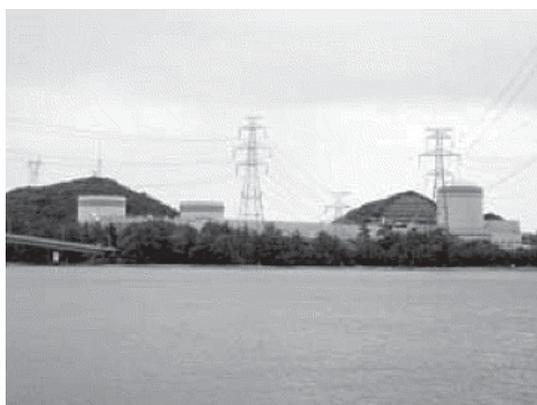
答 現在で10億5千万円の交付を受けており、生涯学習センターと丹生・竹波簡易水道の整備に充当した。また、返納の必要はなく割当額全額が交付される見込みである。

2. 原子力発電所の現状と今後について

問 美浜発電所の再稼働は非常に厳しい状況下にある。町として今後の見通しはどのように考えているのか。

答 美浜発電所の再稼働については規制委員会、規制庁の組織ができて、基準が明確になってからでないとか、中々難しいと考える。中長期的には、いろいろの議論があるが、私としては、原子力の比率を30%以上確保する必要があると考える。

問 原子力発電の更なる推進は難しくなりつつある。他の産業と平行して考えて行かなければならないと考えるが、町では何か考えはあるのか。



美浜発電所

答 私も他の産業と平行して考えなければと思っている。企業誘致に向けた企業調査を進める。今までより大きな計画を考えている。また、若者定住化対策事業も進める。

問 雇用拡大や税収増のために、エネルギーの町として再生可能エネルギー事業への参入を考えてはどうか。

答 再生可能エネルギーは基幹電源としては非常に難しいと考えるが、当町でも最大限取り入れて行きたいと考える。特に小水力発電は美浜町では有望だと聞いている。

3. 空き家対策について

問 美浜町の現状はどのようになっているのか。

答 平成20年の調査では61戸、平成22年の調査では82戸、民間住宅の空き家は21戸あるとの結果が出ている。

問 国の補助制度で、改装、撤去等の支援は出来ないのか。また条例での規制は。

答 地主の理解が得られない中で強制的に行うことは難しいが、今後の課題として考えて行かなければならないと考える。また、条例の必要はあると考える。



松坂 隆司 議員

自治体運営と自治体経営という観点から美浜町の将来について

生涯学習・健康づくり・協働のまちづくりを柱に諸施策を実施する

問 自治体運営という観点から町の政策課題としての現在の重点課題と、3年から5年先に重要度を増す重点課題について。

答 生涯学習の推進、健康づくりの推進、協働のまちづくり、防災安全対策、福祉・子育て対策、産業振興、原子力対策、道路交通網整備。今後の重点的なものとして雇用の場の確保、若者定住化対策、環境問題、原子力との新たな共生という問題も出てくると考えている。

問 地方分権の流れを受けた現在の重点課題と3年から5年先に重要度を増す重点課題について、自治体運営という観点から。

答 常に事業を評価し行政に活かす、事務事業の選択と集中的な投資やスクラップ・アンド・ビルドという形も必要かと考えている。広域行政の中で機能を強化し、課題を解決していくことが重要。

問 美浜町の職員の人材開発について。

答 一人ひとりの職員をいかに有能に育てていくかが大原則。そのために有能な力をつけてもらう必要があると考えている。行政のプロとして高い意識を持つ「考える職員」、豊かな人間性を持ち行動する「元氣な職員」、地域の皆様から信頼される「美浜を愛する職員」という三つの目指すべき職員像を定めている。職場内OJTや研修等を通じて、適切な人事異動や専門性の職員については任期付の職

一般質問

6月定例会では4人の議員が一般質問に立ち、町行政の有り方について、問いたいただきました。質問、返答については質問者の文責で掲載しております。

員等を採用しながら、人材の育成を図っていく。

問 行政経営室ができるに至った背景と目的、組織体制、業務内容と取り組みについて。

答 財政の健全化と計画行政を推進すると共に、第3次の行財政改革の後期実施を行うために副町長をトップとして組織した。当面の事態を重くとらえ時間で流されることなく、先を見据えてやっていく必要があると考え経営室を設けた。歳入・歳出をしっかりと見ていくことも必要で、危機感に対応してやっていく必要がある。他に利用者負担、公平性の原則。税の収納や使用料の徴収を見直す必要があり、早速、取り組んでいる。

問 行政経営室として、現状の美浜町の問題点、そして今後の重点課題と方向性について。

答 住民の要望が多岐に肥大化し、内容が繊細化している。行政の課題はますます大きくなっている中で、どうスリム化をしていくかが協働の大きなテーマ。町民や団体との協働が必要になってくる。

意見 政策や事業の選択と集中。あれもこれもやると言うのではなく、あれかこれかという方向性を明確に示すべきである。前例主義、形式主義、行政側の論理、コスト意識の欠如から脱却する必要がある。財源は厳しいが、どうしてもやりたい事を議会にかけ、町民に対し明確にしていなければ美浜町の将来はない。



浜野 健治 議員

今夏の節電、停電に対する対応は

.....
節電は日常的に必要、計画停電には事前対応が必要

問 関西電力(株)は、今夏、管内の消費者に約15%の節電を要請、更に計画停電の必要性を打ち出している中、美浜町ではどのような対応を考えているのか。

答 基本的に、要請に対して協力は必要である。一方そのような事態にならない回避の努力も必要である。早急におおい3、4号機の再稼働を実行するための、国県の対応を見守る。

住民環境課長 長期停電時の対応は、役場の重要情報は保護されている。音声告知装置等、緊急時の放送は可能である。各診療所については人命に関わる影響はないが、電子データ等の消滅が発生する。
上水道は対応できる。但し、下水道

は送水ポンプの停止で一部マンホールが漏れる可能性がある。交通信号機の停止は、交通警察官等に対応する。
意見 節電は、電力不足時にとどまらず、歳出経費削減にもつながるので、役場内の横断的な組織で検討することを提案します。

美浜発電所停止中の雇用対策をどう考えているのか

.....
停止中しかできない工事で雇用を確保

問 下請け企業、個人からどのような要望が出ているのか。

答 電力会社は、再稼働に向けた点検の前倒し、防災対策等工事の前の倒し、安全品質向上対策工事を実施している。

商観課長 事業所からは主にハローワークが雇用調整助成制度等の対応を実施している。労働者からは数十件の再就職希望が出てきている。

意見 町内にあるエネルギー研究開発機関等活用して、再生可能エネルギー等の開発、販売を促進する窓口を組織内に取り込むべきでないか。

美浜町の観光行政の取り組みに活力を

.....
県、嶺南6市町連携で観光の拠点づくりを推進する

問 観光の入れ込み数減少と通過型観光の増加は、旅館、民宿、商店の疲弊に拍車をかけている。平成26年の高速道の開通と、町政60周年を念頭においた滞在型の観光メニューを広域連携で作るべきだと思いが。

答 従来、観光業界との話し合いが充分であったとは言えない。町政60周年をめざし検討して行きたい。ハートフル体験の充実や、エネルギー体験教育施設の建設、映画「サクラサク」の宣伝効果等に期待すると共に、広域と協力し検討して行く。



観光パンフ

各種委員会報告

【議会活性化特別委員会】



議会風景

議会活性化特別委員会は月に一度、議員全員が参加し議会が活性化するための協議が行われており、美浜町議会としては本年12月を目的に「議員定数」についての議論が交わされている。「議会改革」という意味で、そもそも議会や議員が担う役割とは何なのか？それを果たす上で問題となるのは何なのか？という点を踏まえた上で、改善すべき点を正しながら「議会を活性化」し「議会を改革」していか

ればならない。その他にも、町民に開かれた議会として「住民と議会が語り合う場」や「議員一人一人の行動が良く見える」議会にする為に、議会活性化特別委員会として「民意」を常に意識した議論を進めていきたい。

(松坂記)

【広報特別委員会研修】

「伝える広報」から「伝わる広報」への研修を受ける

みだしを工夫して、読んでもらえる様な書き方が大切との指摘を受ける

6月1日 午後1時から、福井県自治会館で「町議会広報研修会」が開催され、講師の芳野政明（よしのまさあき）氏の講義があり、「議会が見える広報誌」の編集技術として、行政の広報と、議会の広報の違いや、みだしの大切さ、割り付けの方法等、項目別に分かり易い指導を受けた。みはま「議会だより」のクリニクでは、第1号の時から見るとバージョンアップしている事、また、議会情報を早く伝えていく事等の好評価を受けた。

(山口記)



各町の議会だより

【原子力発電所特別委員会】

5月21日に、議会全協室で原子力発電所特別委員会が開催された。出席は本委員9名及び議長、及び理事者側から町長、企画政策課長、原子力対策室長が同席し、各機関からの説明を受けた。

◎安全確保に万全を尽くせ！…保安員に要請

(1)原子力発電所の再起動に当たっての安全性に関する判断基準について

この件について、経産省原子力安全・保安院地域原子力安全統括管理者ら3名を招聘し説明を受けた。主な質疑の内容は

- ①緊急時の要員召集体制と並行してハード対策を進める事。
- ②指揮命令システムを確立すると共に、指

揮者の資質向上をする事。

- ③活断層の調査は今後も実施する事
- ④発電機に使用する重油の備蓄を厳密にする事、等であった。



発電所視察

◎ハード対策・一定の評価…美浜発電所の実施状況確認

(2)福島第一発電所事故を踏まえた安全性向上対策等について

この件について、関西電力美浜発電所所長以下2名を招聘し説明を受けた。主な質疑の内容は

- ①美浜発電所の状況として、3号機は昨年12月にストレステスト1次評価を提出済、2号機は高経年化技術評価書を提出、原子力安全・保安院から一定の評価を頂いている状態。

②今夏の節電の目標と、火力発電所等の供給責任についての関電の対応。

③火力発電所の、燃料費の状況と、電力料金の関連は否定できない。

等の質疑がなされた。その後、説明を受けた設備・機器対応を確認するため美浜発電所を視察をしました。内容は冷却用給水ポンプの防備、津波の浸水対策、緊急用ディーゼル発電機、更にあご越えの防潮堤工事を視察し、「とめる、ひやす、とじこめる」対応が適切にすすめられているかを確認しました。

(前田記)

【町議会議員研修会】

住民満足度を高めるための議会活動

7月4日自治会館において表題の研修会に議員15名と事務局職員が参加しました。今議会活性化特別委員会で取り組んでいる内容そのものでした。議会の目的・議会の活動と成果・議会への町民の期待に答える・議会の活動を町民に知らせる等でした。活発な議論を進め、町民の皆様のご意見をお聞きし、町政に反映できるように取り組んでまいります。

(藤本記)

【有害鳥獣対策特別委員会】

「カゾエモン」シカ、イノシシの捕獲に大活躍

有害鳥獣対策特別委員会は、5月25日会合を招集、有害鳥獣対策の諸課題について討論した。平成24年度、恒久柵の設置計画、海士坂有害鳥獣処理施設の運用状況及び、平成23、24年度の捕獲状況が報告された。

その後、美浜町内の2ヶ所(木野、雲谷)に設置された有害獣の大型捕獲檻「カゾエモン」の実地見学を実施した。木野の梅畑に設置された檻には、設置と同時に、シカ、イノシシが捕獲されている。

(浜野記)



カゾエモン

【全員協議会】

定例会開催中の6月15日公共施設使用料の適正化・生涯学習センターの管理運営・野菜工場の現状などの説明を受けました。

公共施設使用料 検討委員会設置



総合体育館

施設利用の公平性や受益者負担の原則を保つため、利用団体や住民の意見を反映、検討組織を設置し決まった内容は適正な周知期間において施行する。

【対象施設】はあとびあ、総合運動公園、町民広場、ふれあい広場、体育センター、町民プール、東地区プール、B&G海洋センター、地区公民館(各小学校)、ゆづあい広場。

なびあす(生涯学習センター) 管理・運営案を検討

なびあすは10月中旬に完成、11月3、4日に竣工式及びオープンイベントが計画されている。施設使用料については、諮問委員会を設置し調整する。図書館に対する意見、要望を反映させるため図書館協議会を設置する。



なびあす完成予定図

野菜工場譲渡先を検討

平成20年7月に操業を開始した野菜工場(株)フェアリープラントテクノロジーが大幅な資金不足、生産コストを回収できないの販売価格を実現できなかった。また平成23年度からの受託栽培について、安定生産できず生産の中止に至り現在野菜苗、緑化植物等の委託生産販売事業を行っている企業と事業譲渡の検討をしている。

(藤本記)

【敦賀美浜地域開発協議会】

**原子力災害制圧道路
(佐田、竹波間)整備着手**

平成24年度総会が5月31日午前11時から敦賀市役所で開催されました。

平成23年度事業報告と決算報告が有りそれぞれ承認されました。平成24年度の事業計画(案)では、敦賀市、美浜町間における広域事業の推進と共通する諸問題の解決を図るために、

(1)道路、交通網の整備促進の請願、要望(県道佐田竹波敦賀線並びに県道竹波立縄間線の整備他4件)

(2)広域的なまちづくり等に関する調査、研究(研究会及び情報交換会を行う)

等提案され、収支予算(案)と共に承認されました。

現在 原子力災害制圧道路・佐田竹波敦賀線(佐田、竹波間)・竹波立石縄間線共に現況測量調査が行われています。道路網の整備は早急に進めていただきたいと思います。(倉田記)

【社会教育委員会】

一層深まる町民の「きずな」

平成24年度第1回の委員会が5月29日正庁で開催された。任期2年の委員委嘱状が交付されたのち、平成24年度の活動方針が、各団体、各組織から報告された。美浜町の教育基本方針のもと、多くの文化活動、スポーツ活動が行われていて、町民の「絆」を一層深めていく事が期待される。議会としても下支えをして行く必要がある。(浜野記)



若狭国吉城歴史資料館

【敦賀美方消防組合議会】

**小型ポンプ操法大会
山上1位**

去る6月

17日美浜

消防署の訓

練場に於い

て、第16回

小型ポンプ

操法大会が

開催され、

同ポンプを

所有する12

の分団が参

加、消火の

技術とスピードが競われた。1位山上、2

位安江、3位河原市。関係者の皆様大変

お疲れ様でした。



小型ポンプ操法大会

**新型消防車配備と
耐震貯水槽設置が決定**

去る7月3日に開催された敦賀美方消防組合議会に於いて、第4分団第3部大隊に新型の消防自動車(約1千5百万円)の配備と興道寺区(妙寿寺様前)に耐震性のある貯水槽(約7百60万円)を設置する等を盛り込んだ、総額約8千6百万円を追加する補正予算案が可決され、今年度に配備・設置が決定した。(兵庫記)

【その他活動報告】

**福井県人権教育指導者
研修会(嶺南地区)議員も参加**

平成24年度の研修会が6月13日(水)・14日(木)午後1時から福井県若狭図書学習センターで実施されました。参加者は国、県、市町、学校、企業、各種団体等の代表で議員も参加しました。

全大会では講師 熊本理沙さん(近畿大学人権問題研究所 准教授)の講演で演題は「わたしが変わる わたしが変わる」身近な人との出会いや関係を通して「身近な人との出会いや関係の大切さを学ばせていただきました。」

分散会(5分散会)で体験的参加型学習をしました。「電車の中の出来事」の作文が提示され4人のグループに分かれて話し合いをしました。おばさんが、高校生生くらいの女の子が優先座席に座っているのを見て、杖を持ってよろよろとバスに乗って来た人に「席をゆずってあげなさいよ」と言いました。でもその女の子も足が自由だったのです。思い込みや決めつけ、先入観は、お互いを傷つける事を学びました。そして自分の良心にしたがった行動が思わぬ結果を招いた場合でも、すぐに反省をして軌道修正することが大事だという事も学びました。今日学んだ事をこれからの活動に役立たせたいと思います。(倉田記)

議会の動き

4月4日	嶺南有害鳥獣処理施設竣工式(若狹町)
17日	議会活性化特別委員会研修
20日	第2回町議会臨時会
25日	矢筈山トンネル貫通式
5月12日	五木ひろしふるさとコンサート
13日	第24回美浜・五木ひろしまラソン
16~17日	総務文教常任委員会視察研修(東京)
21日	原子力発電所特別委員会
24日	美浜町議会議員OB会総会
25日	議会運営委員会・議会活性化特別委員会・有害鳥獣対策特別委員会(会議・現地視察)
31日	県道佐田竹波敦賀線・竹波立石縄間線道路整備促進期成同盟会総会
6月1日	全員協議会・意見交換会・町議会広報研修会(自治会館)
2日	北地区合同・弥美小・南小・東小 体育大会
6日	第3回美浜町議会定例会本会議・全員協議会
7日	本会議(一般質問)
11日	予算決算常任委員会
12日	総務文教常任委員会
13日	産業厚生常任委員会
15日	全員協議会・現地視察
17日	関西美浜会平成24年度総会
20日	第3回美浜町議会定例会本会議・全員協議会・本会議



今日の大漁! /

漁業体験船 完成

現地視察

かねてより計画されていた日向定置網漁業組合漁業体験船事業の体験船「第三十五 日向丸」が完成、4月24日進水式が行われました。議会では6月15日、現地視察を行いました。船体は19トン、船長22mの大きな船でした。船上には揚網機等、大きな漁業機器が設置されていました。建造目的は日向が県内で唯一夏、冬の定置網業を営んでいる事で後継者の育成と、「ハートフル体験」で人気のある漁業体験に備えたものです。今後、日向地域の発展、漁業後継者の育成、ひいては美浜町の活性化に繋がることが期待されます。

(松坂記)

編集後記

「議会だより」アンケートの協力お礼
「開かれた議会」を

「議会だより」9号に添付したアンケートにご協力頂きありがとうございます。現在結果を集計し、ご意見の数々を分析させて頂いております。議会は、町民の皆様への付託にこたえなく活動しておりますが、何分、今まではあまり活動の実態が町民に伝わっておりません。議会活性化特別委員会では、町民との意見交換会や、議事録の公開等を計画しております。又、少しでも議会の活動を知って頂く為に、定例議会のたびに「議会だより」を発行しております。皆さんから頂いた貴重なご意見、叱咤激励を参考に、益々紙面を充実させて行きますのでご愛読よろしくお願致します。

(浜野記)

「議会だより」は何時も、定例会の翌月発行しています。その為、閉会から記事の締め切りまでが約2週間となり、割り付けに懸命になります。出来るだけフレッシュな記事を頂くことを心がけています。今回は、「議会だより」のクリニックを受けた事もあり、緊張して作成に努力しました。

(山口記)



美浜町議会広報特別委員会
【委員長】山口和治
【副委員長】浜野健治
【委員】松坂隆司・藤本 悟・倉田愛子・前田義久

